

平成 16 年度

事業計画および収支予算案 承認される。

～ (社)地上デジタル放送推進協会 第3回総会 ～

抜けるような晴天に恵まれた平成 16 年 3 月 19 日、東京港都区台場の(株)フジテレビジョンの 22 階フォーラムで、第 3 回総会が開催され、満場一致で平成 16 年度事業計画および収支予算案が可決・承認されました。



総会は午後 4 時から当協会の会員(正会員 46 団体、賛助会員 122 団体、特別会員 1 団体、合計 169 団体)のうち、正会員 40 団体、委任状提出 6 団体。オブザーバーとして賛助会員 98 団体、特別会員 1 団体が出席して開催された。

報道関係者もテレビ・新聞・雑誌など、36 社に及んだ。

冒頭、北川理事長が挨拶に立ち、デジタル化による視聴者へのサービスについて触れた後、普及に向けた決意を表明。続いて(株)テレビ朝日の広瀬 道貞代表取締役社長が議長に選出され、議事が進められた。



開会挨拶をする北川理事長

事務局長の芳賀専務理事から
普及促進に向けた平成 16 年度の事業計画案
地上デジタルテレビ放送の更なる理解促進活動と認知度の
飛躍的向上
効果的な普及促進活動の幅広い展開
視聴者への丁寧で親切な対応
確実に効果的なエンジニアリングサービスの実施
著作権保護の推進 などについて説明したあと、



司会を務める芳賀事務局長

平成 16 年度

この事業を遂行するための収支予算案

一般会計(およそ 2 億 5 千万円強)

ES 業務会計(およそ 3 億 3 千万円)

RMP 管理会計(およそ 3 億 2 千万円)

が提案され、ともに満場一致で可決・承認されました。

更にこの後、運営委員会、普及委員会、エリア情報委員会、技術委員会、ES 特別委員会、RMP 特別委員会の各委員会から、これまでの活動状況や、今後の課題・展望などについて報告、事業の概要が紹介された。

報告者（右写真）

運営委員会 竹中委員長
 普及委員会 岩佐委員長
 エリア情報委員会 今西委員長
 技術委員会 榎並副委員長
 ES 特別委員会 井川副委員長
 RMP 特別委員会 土屋委員長



また、この総会に続いて、会員相互の情報交換のための懇親親睦会が開かれ、(株)テレビ朝日の広瀬代表取締役社長、総務省情報通信政策局の南地上放送課長、(株)フジテレビジョンの村上代表取締役社長の各氏よりご挨拶があり、(社)社団法人地上デジタル放送推進協会(D-PA)への期待と地上デジタルテレビ放送の推進に向けた力強い支援の言葉が述べられました。



挨拶をされる広瀬社長

広瀬 道貞 (株)テレビ朝日 代表取締役社長

「テレビ放送のデジタル化はES やRMP、エリアの問題など大変な作業だが、メディア間の競争の中で、デジタルテレビが王座につく日を楽しみに、皆さんとともに現在の苦勞を乗り越えて行きたい。」



挨拶をされる南課長

南 俊行 総務省 情報通信政策局 地上放送課 課長

「12月に東名阪で始まった地上デジタルテレビ、今は3分咲きだが、年内には5分咲き、来年には全面満開に向かって進んで行く。総務省として今後、ローカル局への支援のあり方の検討や普及啓蒙活動への精一杯の支援を進めて行きたい」



挨拶をされる村上社長

村上 光一 (株)フジテレビジョン 代表取締役社長

「昨年の夏場はD-PA加盟の各社も地上デジタルテレビ放送に対する不安があったが、少しずつ良い状況で春場を向かえている。まだ投資についての不安もあるが、全力で普及促進に邁進して行きたい」